

事務事業名		水道施設地図情報システム整備事業			会計		水道事業		実施区分		
H28担当課等名		水道課		H28係等名		上水道整備係		H27係等名		上水道整備係	
基本計画上の位置づけ		政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり							
		施策	45	居住基盤の向上							
目的	対象(誰・何を)	水道本管施設 給水施設(個人)						指標名及び単位		27年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	既設(アナログ)台帳を数値化(デジタル)する						数値化本管延長(km)		3.1	
	向上させたい上位施策の成果指標	居住基盤の満足度						給水管データ更新(件)		752	
目標	種別	指標名及び単位				27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	数値化本管延長(km)				5	3.1	5	5		
	成果指標	給水管データ更新(件)				2000	752	600	600		
定性目標											
事業概要	水道施設の情報を地図と重ねデジタル化することにより、維持管理の向上を図る。 管網解析モデル構築により、断水時の影響把握による迅速な対応や水質管理による品質確保を図る。										
27年度事業内容	事業内容					名称			活動指標		
	1 市内全域水道本管データ化(H27年度施工箇所) 2 市内全域給水管データ化 3 管網解析モデル作成					1 データ化延長 2 件数 3 式			1 L=3.1km 2 N=752件 3 一式		
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		17,474	20,000	11,318	20,000						
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他											
一般財源		17,474	20,000	11,318	20,000						
人件費計(千円)②		8,765		8,765							
正規職員所要時間		2,000		2,000							
臨時職員所要時間		1,500		1,500							
総事業費①+②		26,239	20,000	20,083	20,000						
事業内容・目標達成状況の振り返り	当初計画分の補正を完了し、また、現場との突合によりデータ精度が向上した。										
改革改善の考え方	①問題点	下水道施設・都市計画基本図データの整備年次の差による、位置精度が低いデータの更新が課題である。									
	②改革提案	各データとの位置補正を行い精度向上を図る。									